

課題解決型授業(アクティブ・ラーニング)に関する調査研究プロジェクト

第4回 ALPS合同研修会

- 1 日 時 平成27年7月30日(木) 13時00分～16時30分
- 2 場 所 旭川市立朝日小学校 会議室
- 3 参加者 朝日小学校 中山 玉井 北島 櫻井 米澤
大有小学校 高橋 野上
新町小学校 菅野
青雲小学校 貝谷
永山西小学校 須賀
近文小学校 三浦
北海道教育大学附属旭川小学校 林崎 堀



4 内 容

○アクティブラーニング型の基本的な学習過程について協議しました。

単元レベルの指導について各参加者が宿題として持ち寄った指導計画について、どの教科や領域でも共通できそうなことについて検討しました。

- ・0次目の日常的な指導が必要では？
- ・単元の導入レベルでは？～本物や実物，体験や日常生活，資料とのかかわり
- ・課題作り～子どもの言葉で，キーワードを大切に…。
- ・身近なテーマ～その気にさせる工夫が。
- ・学習計画は子どもと共に立てる。～選択(方法や対象)

…

⇒何らかの形でモデルを示すことができるようにしたい。

次回は，1単位時間について検討します。

※3冊ずつ×4種類のアクティブラーニングに関する書籍を購入したので，各自へ配付し，次回までの宿題となりました。